スマイル　天神

天神小学校
学校だよりNo.４２
平成 31 年 3 月 15 日
発行者　蒲川法子

思いやりのある子・進んで学ぶ子
明るくたくましい子

卒業式を大切な節目に

日本に生息する竹の中には、１日に１ｍも伸びるものもあり、ものすごいスピードで成長するそうです。それを可能にするのが「竹の節」の存在です。植物の成長点は、幹や枝の先端部分ですが、竹は節ごとに、成長点を持っており、６０の節があれば、他の植物の６０倍以上のスピードで成長することができます。また、「竹の節」は人生にたとえられることがあります。

１９日の卒業式では７０名の卒業生が、巣立っていきます。この卒業式を、自信を持って中学校生活に羽ばたく「竹の節」にするために「別れの言葉（呼びかけ）」「式歌」を中心に取り組んできました。

「別れの言葉（呼びかけ）」は、卒業生全員で６年間を振り返り、お世話になった方への感謝の気持ちや在校生へのメッセージ等、自分が選んだ言葉を堂々と述べます。在校生は学級の代表が卒業生との思い出や感謝の気持ち、お祝いの言葉を述べます。大きな声ではっきりと気持ちを込めて言えるように練習する中で、自分たちがどれだけ成長したか、小学校で何を学んだかに気づいたはずです。

「式歌」は、国歌、佐世保市歌、「別れの言葉（呼びかけ）」の中で歌う在校生の「また会う日まで」と卒業生の「旅立ちの日に」です。どちらも二部合唱で、聴く人に感動を与えられるように各パートでがんばってきました。全員で心を一つにして歌うことができた歌声を自ら耳にして、子どもたちは自分たちの成長を感覚的に実感することでしょう。私は毎年、これらの歌を聴くと涙が出てきます。

１３日に総練習を行いました。卒業生も在校生もよく頑張っていましたが、体調を崩す児童がいて心配になりました。１９日当日は、しっかり体調を整えて思い出深い人生の節となるようにしたいと思います。

６年生の卒業へ向けた取組

これまで、校内や地域のボランティア掃除、高齢者のお弁当作りの手伝い、地域の皆様への感謝の気持ちを伝える取組をしてきた６年生の子どもたち。卒業まであと３日となった昨日、６年生の子どもたちからお手紙をもらいました。中には、毎朝の登校見回りや挨拶運動、その暗唱への取組に対するお礼の言葉が記されていました。とても感激しました。話を聞くとみんなで役割を分担して先生方みんなに手紙を書いたとのこと、子どもたちの主体性に感心しました。また、職員室にも６年生の寄せ書きが届き、そこにも感謝の気持ちが綴られていました。他にも在校生へのメッセージや下級生との交流遊びにも学年ごとに取り組みました。下級生の年齢に合わせて遊ぶ内容も考え、どの学年も楽しく過ごしました。相手の気持ちを考えて行動できるとても素敵な子どもたちです。

天神小学校一徳運動・・・きもちのよいあいさつ